

# 市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行  
市川市選挙管理委員会

次世代を 導く一票 僕たちで

令和3年度 明るい選挙啓発標語作品 最優秀賞

# 市川市長選挙 選挙公報

## 投票日

# 3月27日(日)

## 午前7時から午後8時まで

# 市内78投票所

<期日前投票期間> 3月21日(月)～3月26日(土)

期日前投票所 (ご都合のよい投票所をご利用ください)	
午前8時30分～午後8時	市役所第1庁舎、行徳支所、大柏出張所
午前10時～午後8時	ダイエー市川店、イオン市川妙典店、ニッケコルトンプラザ、いちかわ情報プラザ、市川駅行政サービスセンター、南行徳市民センター
午前10時～午後6時	信篤公民館、東部公民館、西部公民館、曾谷公民館、中山清華園管理棟

※ダイエー市川店のみ3/23(水)～3/25(金)は午後9時まで

選挙に関する情報はこちらから➡



# 市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行  
市川市選挙管理委員会

## 家庭内介護から市政へ!

- 子育てがしやすいまちづくり**
  - 児童虐待防止のために、児童相談所の機能強化
  - 常に待機児童ゼロのための保育所整備
  - 放課後児童クラブの拡充
- お年寄りや障がいを持っている人が安心して暮らせるまち**
  - 高齢者の就労促進や社会参加の機会拡充
  - 医療、介護の連携による地域包括ケアシステムの構築
  - 地域福祉活動を担う人材(ボランティア)の育成
- 災害に強い安全、安心なまちづくり**
  - 空き家等対策事業の推進
  - 押切橋工事の推進
- にぎわいあふれる発展し続けるまち**
  - 京成線の整備:本八幡駅の駅前広場の整備着手
  - 市道整備:市内渋滞緩和のため交差点改良事業の推進
- 緑にあふれ、豊かな産業が育つまち**
  - 市川産農産物のブランド力の向上
  - 商工会と協力、連携した商工業振興への取り組み

### 【略歴】

平成3年3月 柏市立柏高等学校 卒業  
同年4月 父親の経営する電気工事会社に就職。  
以降 結婚し出産、4人の子育てをしながら会社勤務をしてきました。  
子ども達もだいぶ手がかからなくなったある日。  
父親が病で倒れ介護が始まりました。

### 「子育てから介護へ」

子育てと家庭内介護の両立。「社会的弱者」を守るために日々の時間を削り生きてきました。  
その間、介護保険制度の仕組みの壁に突き当たり、時には制度に「助けられ」時には制度に「切り捨てられ」さまざまな問題にぶつかる度に苦しみ、悩みました。母親とともに一生懸命、介護を尽くしてきました。  
昨年、残念ながら父親が死去。  
現在は、母親の見守り介護や通院などに時間を割かなくてはならないため、比較的時間の融通が利く派遣社員として働き、収入を得ながら家族との関係を大事にしています。



# 市川まみ

## 市長選挙 ガラス張りシャワー NO!

## 公用車 高級外車 NO!

## 安心して住み続けられる街へ

市川市長への宿題は、人口減少を続けたい、税収減を続けたい、成長を続けること!

- 学校給食を無償化します**
  - 所得制限は設けず、中学校の給食費を令和4年9月から無償化
  - 公私間格差が生じないよう、私立に通う子ども達の支援も実施
- 4回目の迅速なワクチン接種で市民を守ります**
  - 次の波に備え、市独自の支援を実施(PCR検査の拡大、後遺症対策、保育園休園時のサポート等)

- 子どもの医療費助成制度を18歳まで拡げます**
  - 所得制限は設けず、子どもの医療費助成を18歳まで拡大
- デジタル時代に即した行政改革に取り組みます**
  - DXの更なる推進
  - 電子市役所の実現へ
  - 文化芸術分野でのICT活用
- 新クリーンセンターで電気を作ります**
  - 環境に負荷を与えないクリーンセンターの建て替え
  - ゼロ・カーボンシティの実現へ
- 市内で働くことを支援します**
  - スモールビジネスや新規就農者の支援
  - 夜間保育・送迎体制を整備
  - 先端企業との連携強化

- 学校校庭の人工芝化を進めます**
  - 新たなサッカー場と野球場整備
  - スポーツ習い事の助成制度創設
  - パラスポーツの拠点づくり
- 市内全域の公園整備を進めます**
  - 市川塩浜駅前に総合公園整備
  - 江戸川河川敷道路を気持ちの良い散策路に整備
  - 里見公園・須和田公園・北部スポーツ施設リニューアル
- 土地の有効活用を行います**
  - 都市計画・用途地域の見直しに着手
  - 外環の残地取得や国有地の払い下げを進め土地の有効活用を
- 行徳をさらに豊かにします**
  - 新たな総合防災拠点を整備
  - 行徳駅前整備
  - 押切橋を早期に架橋し、江戸川水閘門を更新

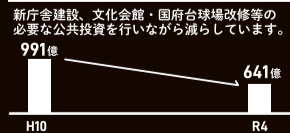


# 村越ひろたみ 48歳

### 4年間で市川市はどう進化したか?

#### 財政の健全化 1 借金の削減

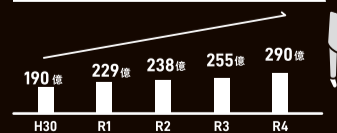
市の借金は・・・



新庁舎建設、文化会館・国府台球場改修等の必要な公共投資を行いながら減らしています。

#### 財政の健全化 2 貯蓄の最大化

市の貯金は・・・



### プロフィール

- 1974年2月13日 市川市宮久保生まれ(48歳)
- 富貴島幼稚園卒園、昭和学院小学校、市川学園市川中学校・高等学校、青山学院大学国際政治経済学部卒業
- 2003年千葉県議会議員、2003年~衆議院議員(2回当選)、2012年外務大臣政務官、2013年~民間企業の顧問を複数勤め、2018年~市川市長
- 好きな音楽: 80年代の洋楽、パンク、高倉健
- 得意な事: アイロン掛け、溪流釣り、包丁研ぎ
- 尊敬する人物: 大塩平八郎、チェ・ゲバラ、亀井静香



# 市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行  
市川市選挙管理委員会

## 市民の命と暮らし、経済を全力で守ります!

### 片岡きょうこ

元市川市議会議員 自由民主党

早稲田大学大学院政治学研究科修了  
1979年生まれ、43歳  
三菱UFJリースで6年間、総合職として金融とビジネスの経験を積み、三菱地所にて5年間、都市の再開発・ブランディングに携わりました。みずほ銀行にて海外支店サポート業務に従事。ロンドンでの子育ても経験。  
趣味は、読書・料理・登山・子供と一緒に農業の手伝いをする事です。  
私は新しい時代が始まっていることを感じています。市川の行政にも、新しい時代の意識と民間感覚を取り入れます。そして税負担を減らし、未来への投資を進めていきます。

政策・経歴  
詳細は  
こちら  
▶▶▶



#### 1 「子ども」と「子育て世帯」に投資します。

- 「産後ケア」産後の家事・育児支援・メンタルサポートを充実させます。
- 「負担軽減」子育て世帯の養育費・教育費の負担を軽減させます。
- 「送迎不要」送迎保育ステーションを実現させます。
- 「給食無料」小・中学校の給食費を無料にします。

#### 2 「市民ファースト」で市政を活性化させます。

- 「情報公開」市政の積極的情報公開で意思決定の透明化を図ります。
- 「市民参加」市議会で市民が直接「提案」・「要望」ができる仕組みを作ります。
- 「集会場」を全自治会に設置し、シニアの活動拠点を増やします。
- 「中核市化」で障がい者手帳発給や、母子・寡婦福祉資金の貸し付けの迅速化を実現します。

#### 3 「命」を守り「稼ぐ」市川の実現を進めます。

- 「市民病院」を作り、小児救急の実現とハイリスク出産に備えます。
- 「安全道路」バギーでも車椅子でもスムーズに進める広い歩道を整備します。
- 「企業誘致」先端企業や研究機関・医療系大学を誘致し、税収を増やします。
- 「農業推進」観光・教育農園で市内外から人を招き、農産物のPRを促進します。

#### 4 「街の再開発」で可能性あふれる都市空間へ変貌させます。

- 「防災強化」浸水対策を強化し、災害に強い基盤整備を進めます。
- 「魅力アップ」再開発を通して土地の価値を増大させます。
- 「緑地保全」生物の多様性を維持し、ヒートアイランド現象を緩和します。



# 片岡きょうこ

かたおか

## いきいきいちかわ 笑顔かがやくまちづくり6つの柱

安心・安全の上に「いきいき」は成り立つ。

安心・安全な環境のもと、人は力を発揮できます。  
「信頼」は、安心の大切な要素。行政の責務に立ち返り、市民との信頼関係を再構築することから着手します。

### 01ひとがいいき

- 生まれる前からシニアまで、すべての市民がいいき暮らしをまわす。
- ◆ 切れ目のない子育て支援、相談体制の拡充（給食費無償化等）
  - ◆ 健康寿命の延伸、高齢者支援の拡充
  - ◆ 障がい者支援の拡充
  - ◆ 市内各所に多目的トイレ設置

### 02まちがいいき

- 命と暮らしを守る備えを強化。
- ◆ 避難所の冷暖房整備を含む防災体制の総点検と拡充
  - ◆ コロナ等医療体制の万全化
  - ◆ 県との連携迅速化
  - ◆ 在宅コロナ療養者への配食サービス拡充
  - ◆ 踏切付近の混雑解消（地下道の設置等）

### 03産業がいいき

- 商店や企業、農水産業、また、新たな起業家を支援し、産業を活性化。
- ◆ 起業支援
  - ◆ テレワーク支援
  - ◆ 農水産業、中小企業、商店への支援拡充
  - ◆ 市内の事業者との連携を強化
  - ◆ 市民の市内観光推進

### 04自然がいいき

- 水辺と緑、市川の多様な自然の豊かさを満喫できる環境を整備。
- ◆ 水辺を活かしたまちづくり
  - ◆ 公園・緑地の拡充、道路・公共施設の緑化
  - ◆ リサイクル強化等環境保全の推進
  - ◆ 食育・地産地消の推進
  - ◆ 動物虐待対策・動物愛護の推進

### 05文化がいいき

- 彩り豊かな文化を生かして、「文教都市市川」を振興。
- ◆ 文化・歴史資産の活用、文化教育の推進
  - ◆ 図書館機能の拡充
  - ◆ 景観保全の推進
  - ◆ 文化・芸術活動支援
  - ◆ スポーツ環境の充実、スポーツ振興

### 06市役所がいいき

- 市民も職員も大切にできる市役所へ改革。
- ◆ 行財政改革を推進
  - ◆ 財務状況を含めた情報公開の徹底
  - ◆ データを用いた行政ICT化推進
  - ◆ 市民との対話集会の実施
  - ◆ 市長専用公用車の廃止



# 守屋貴子

無所属  
54才

## 市民とともに 創る市川

市川のまちづくりに関わって15年 市川市議2期・千葉県議2期

1968年3月5日生まれ、市川市大洲出身。双葉幼稚園、市川市立鶴指小、市川市立第八中、千葉県立市川北高、聖徳学園短期大学卒。清水建設㈱に入社し、まちづくりの基本を学ぶ。転勤族の子育て経験から、支援の必要性を痛感し政治の世界へ。市川市議2期、千葉県議2期、計15年に渡り市政・県政に携わる。夫・一男一女の4人家族。市内東菅野在住。 <https://moriya-takako.jp>



(3) 備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。

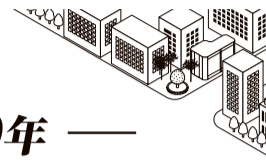


# 市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行  
市川市選挙管理委員会

## 「経済人」だからできる市政がある。

— 政治家として17年、経済人として20年 —



どうしたらと決めたら

### 4つの重点施策

#### 1 身を切る改革で市民に寄り添う

- まずは市長の退職金CUT! 退職金を辞退いたします。
- 市民に寄り添うタウンミーティングの開催をします。

#### 2 子どもたちに明るい未来を

- 「幼保・小・中」をクロスフェード化する取り組みを進め、ギャップの解消に努めます。
- 家庭における仕事と子育ての両立支援(ベビーシッター・家事支援・病児保育など)と補助金制度の創設をします。
- 発達に課題のある子どもと家庭への全力支援します。

#### 3 健康寿命日本一へ

- シルバーパスを導入し、お年寄りの外出をサポートします。
- 健康マイレージの普及で健康増進をはかります。
- 認知症に対する理解を深め、認知症予防を推進します。

#### 4 デジタル地域通貨で地域力をアップ

- コロナ対策の一環として手から(手に)お金を触らないようデジタル通貨の普及に努めます。
- 地域通貨の創設を視野に入れた活動の推進をいたします。



7つの基本政策・全60項目をWebにて公開中 [www.koh-tanaka.jp](http://www.koh-tanaka.jp)

衆議院議員3期・県議会議員2期・市議会議員1期

1957年市川市生まれ、日出幼稚園・小学校、立教中学・高校・大学を卒業。民間企業を経て、1987年市川市議会議員初当選以降、千葉県議会議員(2期)衆議院議員(3期)と地方政治から国政まで17年間勤める。(7回中5回がトップ当選!)  
その後は地元市川市にて経済人として20年、企業の役員として今も現役活動中!  
衆議院議員の同期には、元内閣総理大臣 安倍晋三氏、第100代内閣総理大臣 岸田文雄氏、第55代自民党幹事長 茂木敏充氏など多数。

お約束

悪いことはせん  
田中 甲

田中 甲



よしの いちろう  
吉野 一郎

人々が抱く不安・不満・不信を一刻も早く  
解消する道すじを示す必要あり。  
信頼される市政は信頼できる人々によって  
進めることが理想(常識)です。

そこで

- 一、教育環境の整備と充実を急ぎ
- 一、福祉環境の整備と充実を進め
- 一、楽しく、生きがいのある地域を実現する

と公約し、細案は別に定め

希野王をもって生き  
勇氣をもって進む

○宮沢賢治「オズベルと象」

“みんな出てきて助けしてくれ”

○魯迅「故郷」

“歩く人が多くなれば、それが道になるのだ”

- ・群馬県片品村出身 68歳
- ・武尊(尾瀬)高校 法政大学卒業
- ・市川市内中学校教諭38年間
- ・東菅野5丁目自治会長
- ・市川市バレーボール協会副会長
- ・投票率50%以上
- ・無駄な〇〇はSSY→楽しむ